

自立支援、介護予防・重度化防止に関するデータ

高齢者人口（静岡県の場合）

- 高齢化率は年々上昇し、2022年10月1日時点で**30.7%**
- 高齢者の中の高齢化が進行（75歳以上人口増加）2022年10月1日時点で**16.4%**
- 今後も高齢者の中の高齢化が進行していく見込み

区分	2019年	2020年	2021年	2022年	2025年	2040年
総人口	3,644千人	3,633千人	3,608千人	3,582千人	3,506千人	3,094千人
高齢者人口(65歳以上人口)	1,090千人	1,084千人	1,100千人	1,103千人	1,119千人	1,161千人
うち75歳以上人口	562千人	565千人	568千人	586千人	666千人	681千人
うち85歳以上人口	180千人	185千人	192千人	195千人	222千人	318千人
割合						
65歳以上人口(高齢化率)	29.9%	30.2%	30.5%	30.7%	31.9%	37.51%
75歳以上人口(後期高齢化率)	15.4%	15.6%	15.7%	16.4%	19.0%	22.01%
85歳以上人口	4.9%	5.1%	5.3%	5.5%	6.3%	10.28%

出典：2019年、2021年、2022年総務省統計局「人口推計」による10月1日現在の数。

2020年、総務省統計局「国勢調査結果」による10月1日現在の数。

2025年、2040年は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年3月推計）」による数。

高齢者人口（賀茂圏域の状況）

- 高齢化率は年々上昇し、2022年10月1日時点で**47.2%**
- 高齢者の中の高齢化が進行（75歳以上人口増加）2022年10月1日時点で**26.5%**
- 高齢者の高齢化が進行していくが、人口減に加え高齢者人口も減少傾向

区 分	2019年	2020年	2021年	2022年	2025年	2040年
総人口	61千人	60千人	58千人	57千人	53千人	36千人
高齢者人口(65歳以上人口)	28千人	27千人	27千人	27千人	26千人	20千人
うち75歳以上人口	15千人	15千人	15千人	15千人	16千人	13千人
うち85歳以上人口	5千人	5千人	5千人	5千人	6千人	6千人
割合						
65歳以上人口(高齢化率)	45.6%	46.2%	46.7%	47.2%	47.8%	55.1%
75歳以上人口(後期高齢化率)	24.8%	25.2%	25.5%	26.5%	30.5%	34.4%
85歳以上人口	8.3%	8.7%	9.0%	9.3%	10.4%	17.8%

出典：2019年、2021年、2022年県統計調査課「静岡県推計人口月報」による10月1日現在の数。

2020年、総務省統計局「国勢調査結果」による10月1日現在の数。

2025年、2040年は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年3月推計）」による数。

高齢者人口（熱海伊東圏域の状況）

- 高齢化率は年々上昇し、2022年10月1日時点で**45.1%**
- 高齢者の中の高齢化が進行（75歳以上人口増加）2022年10月1日時点で**26.5%**
- 高齢者の高齢化が進行していくが、人口減に加え高齢者人口は減少傾向

区分	2019年	2020年	2021年	2022年	2025年	2040年
総人口	102千人	100千人	98千人	97千人	92千人	69千人
高齢者人口(65歳以上人口)	45千人	44千人	44千人	44千人	42千人	37千人
うち75歳以上人口	25千人	25千人	25千人	26千人	28千人	22千人
うち85歳以上人口	7千人	8千人	8千人	8千人	9千人	11千人
割合						
65歳以上人口(高齢化率)	44.3%	44.5%	44.9%	45.1%	45.5%	53.7%
75歳以上人口(後期高齢化率)	24.4%	24.7%	25.3%	26.5%	30.1%	31.7%
85歳以上人口	7.4%	7.5%	8.0%	8.4%	10.2%	16.0%

出典：2019年、2021年、2022年県統計調査課「静岡県推計人口月報」による10月1日現在の数。

2020年、総務省統計局「国勢調査結果」による10月1日現在の数。

2025年、2040年は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年3月推計）」による数。

高齢者人口（駿東田方圏域の状況）

- 高齢化率は年々上昇し、2022年10月1日時点で**30.6%**
- 高齢者の中の高齢化が進行（75歳以上人口増加）2022年10月1日時点で**16.5%**
- 今後も高齢者の高齢化が進行していく見込み

区分	2019年	2020年	2021年	2022年	2025年	2040年
総人口	643千人	640千人	634千人	628千人	610千人	519千人
高齢者人口(65歳以上人口)	190千人	191千人	192千人	192千人	193千人	199千人
うち75歳以上人口	98千人	99千人	100千人	103千人	115千人	114千人
うち85歳以上人口	30千人	31千人	33千人	34千人	38千人	53千人
割合						
65歳以上人口(高齢化率)	29.6%	29.9%	30.3%	30.6%	31.6%	38.3%
75歳以上人口(後期高齢化率)	15.2%	15.5%	15.8%	16.5%	18.8%	22.0%
85歳以上人口	4.7%	4.9%	5.2%	5.4%	6.2%	10.2%

出典：2019年、2021年、2022年県統計調査課「静岡県推計人口月報」による10月1日現在の数。

2020年、総務省統計局「国勢調査結果」による10月1日現在の数。

2025年、2040年は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年3月推計）」による数。

高齢者人口（富士圏域の状況）

- 高齢化率は年々上昇し、2022年10月1日時点で**29.5%**
- 高齢者の中の高齢化が進行（75歳以上人口増加）2022年10月1日時点で**15.4%**
- 今後も高齢者の高齢化が進行していく見込み

区 分	2019年	2020年	2021年	2022年	2025年	2040年
総人口	374千人	374千人	371千人	368千人	355千人	305千人
高齢者人口(65歳以上人口)	106千人	107千人	108千人	109千人	111千人	117千人
うち75歳以上人口	53千人	54千人	55千人	57千人	64千人	67千人
うち85歳以上人口	16千人	17千人	17千人	18千人	21千人	31千人
割合						
65歳以上人口(高齢化率)	28.4%	28.7%	29.2%	29.5%	31.2%	38.3%
75歳以上人口(後期高齢化率)	14.3%	14.5%	14.7%	15.4%	18.2%	22.0%
85歳以上人口	4.2%	4.4%	4.7%	4.9%	5.9%	10.1%

出典：2019年、2021年、2022年県統計調査課「静岡県推計人口月報」による10月1日現在の数。

2020年、総務省統計局「国勢調査結果」による10月1日現在の数。

2025年、2040年は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年3月推計）」による数。

高齢者人口（静岡圏域の状況）

- 高齢化率は年々上昇し、2022年10月1日時点で**30.7%**
- 高齢者の中の高齢化が進行（75歳以上人口増加）2022年10月1日時点で**16.8%**
- 今後も高齢者の高齢化が進行していく見込み

区 分	2019年	2020年	2021年	2022年	2025年	2040年
総人口	691千人	693千人	689千人	683千人	670千人	594千人
高齢者人口(65歳以上人口)	209千人	210千人	210千人	210千人	213千人	220千人
うち75歳以上人口	111千人	111千人	111千人	115千人	130千人	127千人
うち85歳以上人口	34千人	36千人	37千人	38千人	44千人	60千人
割合						
65歳以上人口(高齢化率)	30.3%	30.2%	30.5%	30.7%	31.8%	37.1%
75歳以上人口(後期高齢化率)	16.0%	16.1%	16.2%	16.8%	19.4%	21.4%
85歳以上人口	5.0%	5.1%	5.4%	5.6%	6.5%	10.0%

出典：2019年、2021年、2022年県統計調査課「静岡県推計人口月報」による10月1日現在の数。

2020年、総務省統計局「国勢調査結果」による10月1日現在の数。

2025年、2040年は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年3月推計）」による数。

高齢者人口（志太榛原圏域の状況）

- 高齢化率は年々上昇し、2022年10月1日時点で**31.2%**
- 高齢者の中の高齢化が進行（75歳以上人口増加）2022年10月1日時点で**16.4%**
- 今後も高齢者の高齢化が進行していく見込み

区 分	2019年	2020年	2021年	2022年	2025年	2040年
総人口	454千人	454千人	449千人	446千人	437千人	381千人
高齢者人口(65歳以上人口)	138千人	138千人	139千人	139千人	143千人	145千人
うち75歳以上人口	71千人	71千人	71千人	73千人	85千人	86千人
うち85歳以上人口	23千人	23千人	24千人	25千人	28千人	40千人
割合						
65歳以上人口(高齢化率)	30.3%	30.5%	30.9%	31.2%	32.8%	37.9%
75歳以上人口(後期高齢化率)	15.5%	15.7%	15.8%	16.4%	19.4%	22.6%
85歳以上人口	5.1%	5.2%	5.4%	5.5%	6.3%	10.4%

出典：2019年、2021年、2022年県統計調査課「静岡県推計人口月報」による10月1日現在の数。

2020年、総務省統計局「国勢調査結果」による10月1日現在の数。

2025年、2040年は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年3月推計）」による数。

高齢者人口（中東遠圏域の状況）

- 高齢化率は年々上昇し、2022年10月1日時点で**28.5%**
- 高齢者の中の高齢化が進行（75歳以上人口増加）2022年10月1日時点で**14.2%**
- 今後も高齢者の中の高齢化が進行していく見込み

区 分	2019年	2020年	2021年	2022年	2025年	2040年
総人口	465千人	466千人	463千人	461千人	448千人	407千人
高齢者人口(65歳以上人口)	128千人	129千人	131千人	132千人	136千人	140千人
うち75歳以上人口	63千人	63千人	63千人	65千人	77千人	85千人
うち85歳以上人口	22千人	22千人	23千人	23千人	25千人	39千人
割合						
65歳以上人口(高齢化率)	27.5%	27.8%	28.3%	28.5%	30.4%	34.5%
75歳以上人口(後期高齢化率)	13.4%	13.6%	13.7%	14.2%	17.1%	20.8%
85歳以上人口	4.6%	4.8%	4.9%	4.9%	5.6%	9.6%

出典：2019年、2021年、2022年県統計調査課「静岡県推計人口月報」による10月1日現在の数。

2020年、総務省統計局「国勢調査結果」による10月1日現在の数。

2025年、2040年は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年3月推計）」による数。

高齢者人口（西部圏域の状況）

- 高齢化率は年々上昇し、2022年10月1日時点で**28.5%**
- 高齢者の中の高齢化が進行（75歳以上人口増加）2022年10月1日時点で**15.2%**
- 今後も高齢者の高齢化が進行していく見込み

区 分	2019年	2020年	2021年	2022年	2025年	2040年
総人口	850千人	849千人	844千人	841千人	841千人	782千人
高齢者人口(65歳以上人口)	237千人	237千人	239千人	240千人	256千人	283千人
うち75歳以上人口	123千人	123千人	124千人	128千人	153千人	167千人
うち85歳以上人口	40千人	41千人	43千人	44千人	53千人	79千人
割合						
65歳以上人口(高齢化率)	27.8%	27.9%	28.3%	28.5%	30.5%	36.2%
75歳以上人口(後期高齢化率)	14.4%	14.5%	14.6%	15.2%	18.1%	21.4%
85歳以上人口	4.7%	4.9%	5.1%	5.3%	6.3%	10.0%

出典：2019年、2021年、2022年県統計調査課「静岡県推計人口月報」による10月1日現在の数。

2020年、総務省統計局「国勢調査結果」による10月1日現在の数。

2025年、2040年は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年3月推計）」による数。

要介護支援・要介護認定の状況

- 要介護度別では、要介護5のみ減少
- 要支援1は、増加率が大きく、10%を超える

区分		2019年	2020年	2021年	2022年	2019→2022	
						増減値	増減率
介護認定者 (人)	要支援1	19,091	19,783	20,425	21,254	2,163	11.3%
	要支援2	23,104	23,172	24,070	24,600	1,496	6.5%
	要介護1	41,911	42,822	44,489	45,481	3,570	8.5%
	要介護2	31,145	31,628	32,519	32,455	1,310	4.2%
	要介護3	24,828	25,211	26,321	26,364	1,536	6.2%
	要介護4	22,216	22,257	22,945	23,550	1,334	6.0%
	要介護5	14,215	14,297	13,687	13,832	▲ 383	▲ 2.7%
	計	176,510	179,170	184,456	187,536	11,026	6.2%
調整済み認定率 (%)		15	14.8	14.9	14.7		

(出典・時点)

認定者数：介護保険事業状況報告 月報 各年4月末時点

調整済み認定率：介護保険事業状況報告 年報

(2021年のみ3月末の「介護保険事業状況報告」月報)「住民基本台帳人口・世帯数」

介護予防に資する通いの場の取組



住民主体の通いの場の状況（圏域別）

■ 住民主体の介護予防の通いの場の活動状況（2021年度実績）

○ 高齢者 1 万人あたりの**箇所数**、**高齢者の参加率**ともに**地域差**が生じている。

※ 住民主体の介護予防の通いの場とは（国調査における定義）

・ 住民が運営する通いの場で、月 1 回以上、体操や趣味活動等の活動実績があり、介護予防に資すると市町が認めたもの

圏域名	高齢者人口 R4.1.1 住民基本台帳 年齢階級別 (①)	通いの場の箇所数				箇所数/ 高齢者 1 万人 ②/①	参加者 実人数 計 (③)	高齢者の 参加率 (%) ③/①
		体操 (運動)	認知症 予防	その他 (茶話・趣味等)	計 (②)			
賀茂圏域	27,554	68	2	33	103	37.4	1,779	6.5%
熱海伊東圏域	46,027	77	25	89	191	41.5	2,238	4.9%
駿東田方圏域	193,732	354	36	194	584	30.1	11,264	5.8%
富士圏域	109,529	218	23	251	492	44.9	7,367	6.7%
静岡圏域	211,450	148	0	308	456	21.6	8,076	3.8%
志太榛原圏域	137,615	390	45	392	827	60.1	15,228	11.1%
中東遠圏域	127,296	407	98	363	868	68.2	16,860	13.2%
西部圏域	234,657	485	5	654	1,144	48.8	22,706	9.7%
県計	1,087,860	2,147	234	2,284	4,665	42.9	85,518	7.9%

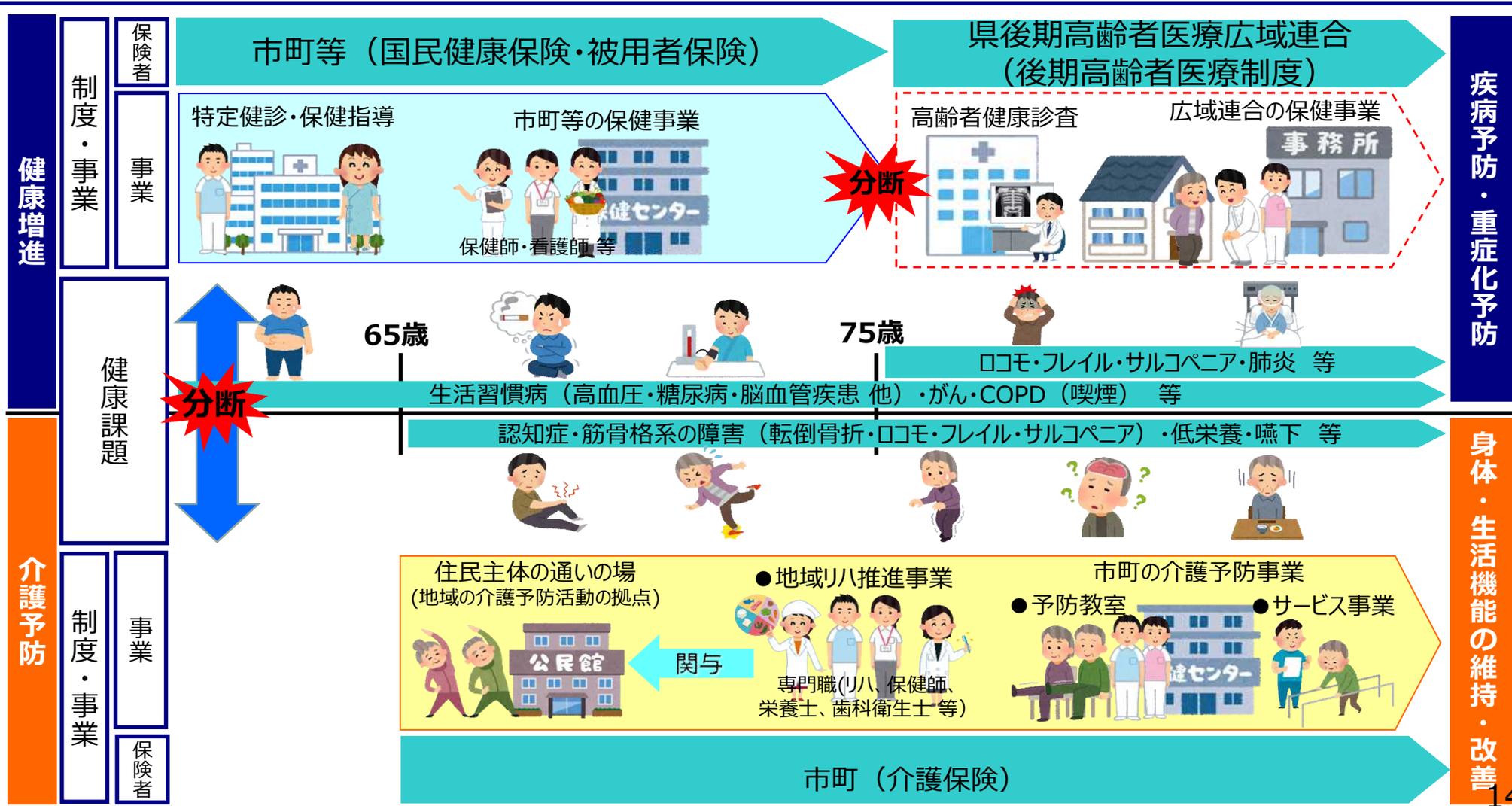
高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施促進事業①

■ 制度的な課題

- 保険制度には医療保険(国民健康保険、後期高齢者医療制度等)と介護保険があるため、事業の**実施主体が制度及び年齢に応じて異なり、各事業の連携が取れていない。**
- 後期高齢者の保健事業は、**県全体を対象に広域連合が実施するため、取組が薄い。**

■ 制度改正

高齢者の介護予防と保健事業の一体的実施



リハビリテーション専門職の活動実績（2022年度）

圏域	区分	活動者数(人)		リハビリテーション専門職の活動実績(単位:件)					
		リハ職数	うち地域リハ推進員	訪問・通所事業所	通いの場・介護予防教室	サービス担当者会議	地域ケア会議	その他	合計
賀茂	下田市	4	1				1	3	4
	東伊豆町	3	2				3	1	4
	河津町	5	2	1			1	2	4
	南伊豆町	4	1	3	19		1	7	30
	松崎町	2	1		2		4	0	6
	西伊豆町	8	3					10	10
	小計	26	10	4	21	0	10	23	58
熱海伊豆	熱海市	9	2		22		4	0	26
	伊東市	14	6		26		7	1	34
	小計	23	8	0	48	0	11	1	60
駿東田方	沼津市	9	5		7			33	40
	三島市	13	4		7		4	28	39
	裾野市	1	1		4		3	0	7
	伊豆市	12	11		70	4	6	2	82
	伊豆の国市	9	2				12	10	22
	函南町	3	2				24	8	32
	清水町	1	0				1	1	2
	長泉町	3	3				1	5	6
	御殿場市	9	5		4		5	7	16
	小山町	5	1		0			1	1
小計	65	34	0	92	4	56	95	247	
富士	富士宮市	11	8	1	33			5	39
	富士市	10	3		20		10	23	53
	小計	21	11	1	53	0	10	28	92

圏域	区分	活動者数(人)		リハビリテーション専門職の活動実績(単位:件)					
		リハ職数	うち地域リハ推進員	訪問・通所事業所	通いの場・介護予防教室	サービス担当者会議	地域ケア会議	その他	合計
富士	富士宮市	11	8	1	33			5	39
	富士市	10	3		20		10	23	53
	小計	21	11	1	53	0	10	28	92
静岡	静岡市	101	61				280	162	442
	小計	101	61	0	0	0	280	162	442
志太榛原	島田市	6	1	24	14		28	265	331
	焼津市	44	6		44		16	435	495
	藤枝市	27	5	19	115		93	55	282
	牧之原市	5	3	1	1	10		249	261
	吉田町	10	3		2		6	6	14
	川根本町	1	0				2	0	2
小計	93	18	44	176	10	145	1,010	1,385	
中東遠	磐田市	4	1	1	10		10	0	21
	掛川市	29	10	49	124	6	50	111	340
	袋井市	14	9		28		4	8	40
	御前崎市	8	2		30	32		79	141
	菊川市	16	4		13		9	13	35
	森町	3	3		3			0	3
小計	74	29	50	208	38	73	211	580	
西部	浜松市	34	21	7	42		5	0	54
	湖西市	4	4		2			1	3
	小計	38	25	7	44	0	5	1	57
合計	441	196	106	642	52	590	1,531	2,921	

※派遣名簿登録リハビリ専門職数：2022年4月現在。複数市町に派遣可能なリハビリ専門職はそれぞれの市町で記載。

※リハビリテーション専門職の活動実績：2023年5月 県福祉長寿政策課調査

※その他は、多職種連携会議への参加、研修会の講師、ケアマネジャーの初回ケアマネジメントの同行支援等

地域リハビリテーションサポート医・推進員の配置状況

※令和5年3月末現在 県福祉長寿政策課調査

市町の介護予防事業等に協力できるリハビリテーション専門職数

圏域	市町	人数 A	内訳			(参考)			圏域	市町	人数 A	内訳			(参考)			
			理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	左記のうち地域リハ推進員	高齢者数 B (R5.4.1)	高齢者一人当たりの協力できるリハ職数 (10,000/B*)				理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	左記のうち地域リハ推進員	高齢者数 B (R5.4.1)	高齢者一人当たりの協力できるリハ職数	
賀茂	下田市	5	4	1		4	8,524	5.87	富士	富士宮市	24	20	2	2	10	39,182	6.13	
	東伊豆町	8	6	2		6	5,367	14.91		富士市	45	39	4	2	26	71,176	6.32	
	河津町	6	4	2		5	2,870	20.91		小計	69	59	6	4	36	110,358	6.25	
	熱海伊東	南伊豆町	4	3	1		2	3,682	10.86	静岡	静岡市	125	92	19	14	90	210,447	5.94
		松崎町	3	1	2		3	2,955	10.15		小計	125	92	19	14	90	210,447	5.94
		西伊豆町	3	1	2		3	3,678	8.16	志太榛原	島田市	4	4			4	30,660	1.30
		小計	29	19	10	0	23	27,076	10.71		焼津市	18	14	3	1	13	41,144	4.37
熱海市		22	13	9		14	16,675	13.19	藤枝市		26	23	3		15	43,798	5.94	
伊東市		23	13	9	1	20	28,860	7.97	牧之原市		4	4			4	14,236	2.81	
小計	45	26	18	1	34	45,535	9.88	吉田町	3		1	1	1	2	7,663	3.91		
沼津市	28	16	8	4	19	60,983	4.59	川根本町	2		2			2	3,093	6.47		
駿東田方	三島市	16	13	2	1	14	32,299	4.95	小計	57	48	7	2	40	140,594	4.05		
	裾野市	3	2	1		3	13,962	2.15	中東遠	磐田市	18	16	1	1	10	48,709	3.70	
	伊豆市	58	42	14	2	51	12,090	47.97		掛川市	18	11	7		15	32,804	5.49	
	伊豆の国市	14	9	5		8	15,919	8.79		袋井市	12	7	5		12	22,258	5.39	
	函南町	5	4	1		5	11,977	4.17		御前崎市	12	11	1		3	9,789	12.26	
	清水町	6	2	2	2	3	8,399	7.14		菊川市	7	4	3		5	13,354	5.24	
	長泉町	10	9	1		7	9,761	10.24		森町	8	7	1		4	6,247	12.81	
	御殿場市	16	9	6	1	13	22,194	7.21		小計	75	56	18	1	49	133,161	5.63	
	小山町	8	5	3		7	5,498	14.55		西部	浜松市	160	106	38	16	97	225,153	7.11
	小計	164	111	43	10	130	193,082	8.49			湖西市	7	6	1		6	16,690	4.19
	※複数市町に派遣可能なリハビリ専門職は、それぞれの市町で計上(延べ731人)									小計	167	112	39	16	103	241,843	6.91	
								合計	731	523	160	48	505	1,102,096	6.63			

* 県福祉長寿政策課調査：令和5年5月現在

地域包括ケア情報システム（シズケア＊かけはし）参加施設数

多職種・多機関連携

●地域包括ケア情報システム（シズケア＊かけはし）参加施設数

区分	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
賀茂	31	31	29	27	24
熱海・伊東	99	124	140	147	155
駿東田方	187	211	219	237	230
富士	57	72	121	142	159
静岡	201	195	195	212	222
志太榛原	144	146	151	157	170
中東遠	127	123	149	164	172
西部	100	82	86	84	82
合計	946	984	1,090	1,170	1,214

市町ヒアリングの結果

市町ヒアリング結果（賀茂圏域）

● 自立支援、介護予防・重度化防止を実施するにあたっての課題

全圏域共通の課題

- リハ推進員は、事業の助言や協力が得られ連携しているが、サポート医は連携できていない。
- 通いの場の担い手不足
- 介護予防事業への無関心層の取り込み

賀茂圏域市町の個別課題

- 介護予防事業への参加者が少なく住民への周知が必要。
- 介護予防事業において、運動指導者やリハビリ専門職などの講師が足りない。
- 介護ボランティアの育成が必要
- リハ推進員とリハサポート医の制度を理解しておらず、活用していない。

市町ヒアリング結果（熱海・伊東圏域）

● 自立支援、介護予防・重度化防止を実施するにあたっての課題

全圏域共通の課題

- リハ推進員は、事業の助言や協力が得られ連携しているが、サポート医は連携できていない。
- 通いの場の担い手不足
- 介護予防事業への無関心層の取り込み

熱海・伊東圏域市町の個別課題

- リハビリテーションを活用した事業展開をしたいが、感染症の蔓延もあり制度利用が進まない。
- 一人一人がフレイルを「自分ごと」として捉えてもらうための取組
- 介護予防と保健事業の一体的実施にあたり、連携体制が不十分。
- リハサポート医の活用が推進されているが、どのように連携すべきかイメージが湧かない。

市町ヒアリング結果（駿東田方圏域）

● 自立支援、介護予防・重度化防止を実施するにあたっての課題

全圏域共通の課題

- リハ推進員は、事業の助言や協力が得られ連携しているが、サポート医は連携できていない。
- 通いの場の担い手不足
- 介護予防事業への無関心層の取り込み

駿東田方圏域市町の個別課題

- 専門職の不足により、介護予防事業の実施が制限されている。
- 地域を巻き込んだ介護予防事業の実施と感染防止対策とのバランス
- ボランティア等担い手の創出と活動の場の確保等の支援。
- リハサポート医との連携がとれていないため、活用方法も検討できていない。

市町ヒアリング結果（富士圏域）

● 自立支援、介護予防・重度化防止を実施するにあたっての課題

全圏域共通の課題

- リハ推進員は、事業の助言や協力が得られ連携しているが、サポート医は連携できていない。
- 通いの場の担い手不足
- 介護予防事業への無関心層の取り込み

富士圏域市町の個別課題

- 通いの場そのものが不足している。
- 地域包括支援センターや地区の専門家間で情報共有が十分にできていない。
- リハ推進員の数が十分でなく、通いの場への協力依頼に対応できない場合がある。
- リハサポート医との連携がとれていないため、活用できていない。

市町ヒアリング結果（志太榛原圏域）

● 自立支援、介護予防・重度化防止を実施するにあたっての課題

全圏域共通の課題

- リハ推進員は、事業の助言や協力が得られ連携しているが、サポート医は連携できていない。
- 通いの場の担い手不足
- 介護予防事業への無関心層の取り込み

志太榛原圏域市町の個別課題

- 介護予防事業への参加者が固定化してきている。
- リハサポート医の役割について理解ができておらず、依頼内容の検討に至っていない。
- 住民の中に介護予防を普及するリーダー的存在を養成することが必要。
- ソーシャルメディアを用いた介護予防の取組は、対象となる高齢者が機器の操作に不慣れなため活用に課題が残る。

市町ヒアリング結果（中東遠圏域）

● 自立支援、介護予防・重度化防止を実施するにあたっての課題

全圏域共通の課題

- リハ推進員は、事業の助言や協力が得られ連携しているが、サポート医は連携できていない。
- 通いの場の担い手不足
- 介護予防事業への無関心層の取り込み

中東遠圏域市町の個別課題

- 介護予防教室から住民相互による支え合いの居場所やサロンへつなぐ仕組み作り。
- 通いの場などへの参加に移動手段の確保が必要
- 通いの場は、運動を中心とし拡大しているが、栄養、口腔など専門的支援まではできていない。
- ケアマネからの相談対応や福祉用具の利用、住宅改修など適切に実施できるよう、リハビリスタッフが指導できる仕組みが必要。

市町ヒアリング結果（西部圏域）

● 自立支援、介護予防・重度化防止を実施するにあたっての課題

全圏域共通の課題

- リハ推進員は、事業の助言や協力が得られ連携しているが、サポート医は連携できていない。
- 通いの場の担い手不足
- 介護予防事業への無関心層の取り込み

西部圏域市町の個別課題

- 介護予防事業の参加者は増えてはいるものの、高齢者人口の6%にとどまっている。
- 保健事業との一体的実施のための準備や体制整備が必要
- 通いの場を確保し継続することが必要
- 通いの場等へのリハビリ専門職の派遣により、利用者の満足度は高い傾向にあるが、市の事務負担は大きい。